

兼任教員情報公開用（最近5年間の主な業績等）

2021年

氏名	品谷 篤哉	担当科目	金融商品取引法
学 位			
1990年3月	修士（法学）（金沢大学）		
主 な 学 歴			
年 月	事 項		
1987年3月 1990年3月 1992年3月	金沢大学法学部法学科卒業 金沢大学大学院法学研究科修士課程修了 一橋大学大学院法学研究科博士課程中退		
主 な 職 歴・経 歴			
年 月	事 項		
1992年4月1日～ 1995年3月31日 1995年4月1日～ 2002年3月31日 2002年4月1日～ 2003年3月31日 2003年4月1日～ 2004年3月31日 2004年4月1日～ 2009年3月31日 2009年4月1日～	名城大学法学部専任講師 名城大学法学部助教授 名城大学法学部教授 立命館大学法学部教授 立命館大学大学院法務研究科教授 立命館大学法学部教授		
最近5年間の主な業績等			
年 月	事 項		
2016年3月	「株式の仮装払込みに関する覚書」立命館法学 2015年5・6合併号 272-295頁		
2016年10月	[判例研究]「金融商品取引法 166条1項1号における『その他の従業者』の意味」立命館法学 2016年3号 229-251頁		
2017年3月	「取締役の利益相反取引と権限濫用行為」立命館法学 2016年5・6合併号 261-286頁		
2017年12月	[判例研究]「手形金の償還請求、手形の引渡請求及び原因債権に基づく請求が争われた事例」立命館法学 2017年3号 388-408頁		
2018年3月	「第7章 有価証券の取引等に関する規制」川村正幸・品谷篤哉・山田剛志・芳賀良『金融商品取引法の基礎』162-206頁（中央経済社）		
2019年7月	「第2編第1～6章」川村正幸・品谷篤哉・酒井太郎『コア・テキスト 商法総則・商行為法』81-156頁（新世社）		

2019年12月	「第5編第4章第2節 短期売買利益」河内隆史編集代表『金融商品取引法の理論・実務・判例』494-506頁 (勁草書房)
2020年3月	「会社法356条2項の改正」立命館法学2019年5・6合併号104-130頁
2020年6月	「第2編第6・13章」川村正幸・品谷篤哉・山田剛志・尾関幸美『コア・テキスト 会社法』112-146, 235-268頁(新世社)
2021年1月	[判例研究]「代表取締役を解職する取締役会の招集通知の瑕疵と決議の効力」商事法務2251号130-134頁
(参考: 外部リンク) プロフィールURL	
	http://research-db.ritsumeai.ac.jp/Profiles/27/0002687/profile.html